

本間組合長 漁協運動功労者表彰受賞



～2021年度(第36回)漁協運動功労者表彰～

今年度の漁協運動功労者68名が発表され、当漁協からは本間昭志代表理事組合長が受賞されました。

本間組合長は山形県底曳網漁業連合船頭会長等要職を歴任後、当漁協の監事を1期、理事を2期務めた後、平成29年6月代表理事組合長に就任、現在2期目となります。また、令和元年6月からは全国組織団体の要職も務めるなど、本県のみならず、水産業の振興・発展に大きく貢献されております。

東京での表彰式は現況を鑑み中止となりましたが、11月29日(月)にJF全漁連の大森敏弘代表理事専務が来県され当漁協本所にて賞状が伝達されました。

漁業者の意欲的な事業を支援します!!

水産業成長産業化支援事業費補助金について

今年度、県では市町村と連携し、本県の水産業を持続し成長する魅力ある産業にしていくとともに、漁村及び内水面漁業地域の振興を図るため、漁業者等の意欲的な取り組みを支援するオーダーマイド型の補助制度を創設しました。採択された18件の事業の内、海面漁業者等の事業は8件でした。

この補助制度は来年度も実施する予定で、県漁協や庄内総合支庁水産振興課、最寄りの市町村の水産担当課で事業活用の相談に応じておりますので、新たに組み立てたい事業構想などをお持ちの方は是非御相談ください。



1 応募資格

法人、個人、団体又はグループ（3人以上に限る。但し漁業士又は中核漁業者を含む場合は2人以上）とする

2 対象となる事業

山形県水産振興計画に掲げる「持続可能な海面漁業の基盤整備」「海面漁業の成長産業化に向けた経営基盤強化」「持続可能な内水面漁業・養殖業の振興」「県産水産物の利用拡大」「安全・安心で健全な水域環境の確保と活用」のいずれかに取り組む事業。

3 補助率

- 国庫補助制度を活用できる場合
漁業者等：県2/10、市町村1/10
 - 国庫補助制度を活用できない場合
漁業者等：県1/3、市町村1/6
- ※額の上限あり

4 今年度の採択事業の一例

製氷機の導入
豊洲市場等への出荷額増加を図るため、出荷時の高鮮度保持に有効な薄片氷用製氷機を堅苔沢漁港荷捌き所に設置。



中古漁船の貸与
若い漁業者を育て、地域の活性化を図るため、県漁協が中古漁船を取得し、新たに独立する新規漁業者に貸与。



※その他

- ・漁獲マグロの品質向上と高鮮度保持のため、マグロ釣り機、電気ショッカー等の整備
- ・無線設備規則改正にともなう無線機器の更新

山形県農林水産部水産振興課 水産業成長産業化主査 遠藤 浩幸

理事会情報

令和3年度 第5回 理事会議案
開催日：令和3年10月19日(火)
場所：本所 第一会議室

〔協議事項〕

- 1 令和3年度上半期収支状況について
- 2 債権の管理回収について（第2回債権管理委員会の協議を踏まえて）
- 3 （一社）山形県漁業リース協会への貸付金の審議について
- 4 就業規則の一部改正について（案）
- 5 衆議院議員及び酒田市議会議員候補者の推薦について

〔報告事項〕

- 1 令和4年度水産産業振興に関する要望書について
- 2 令和3年9月末貸付金の状況について
- 3 信用・経済事業貸倒債権等の回収状況について
- 4 令和3年9月末資金運用状況について
- 5 令和3年9月末余裕金の運用状況について
- 6 令和3年度内部監査結果について
- 7 令和3年度栽培漁業実施結果について
- 8 令和3年度指導事業賦課金徴収実績について
- 9 令和3年度第2四半期における販売促進活動について
- 10 令和3年度第2四半期の「庄内海丸」の収支について
- 11 第3回コンプライアンス推進委員会の開催について
- 12 組合員の加入・脱退について

山形県漁港機能増進事業

由良漁港上架施設完成!!

これまで、地元漁業者から強く整備要望があった由良漁港上架施設について、この度山形県漁港機能増進事業により、新たに整備されました。

この度設置されたのは、台車式上架装置（船体転倒防止機器）、レール敷設、ソリ式台船、滑り材敷設、ウインチ機械室等です。

去る10月29日には地元の漁業者有志による上架場のご祈禱が行われ、翌月9日には、台車式上架装置の試運転が行われました。

これまで酒田港等まで回航し、上架せざるを得なかった非効率な状況から、地元でのスムーズな上架が行われることで、経営コストの縮減をはじめとする労働環境の改善が期待されています。漁業者の皆様、ぜひ積極的にご利用ください。



全国共済水産業協同組合連合会（JF共水連）

人事異動のお知らせ

異動

(令和3年10月1日付〔 〕は旧所属)

佐々木裕之 東北事業本部 普及企画部長
秋田支店長・山形支店長
(秋田支店長・山形支店長)

本間 護

秋田支店 次長・普及指導課長事務取扱
山形支店 次長・普及指導課長事務取扱
(秋田支店 普及指導課長・山形支店 普及指導課長)

がんばっています

不定期でお送りしている「頑張っています」のコーナーですが、今回は県の漁業新規就業者支援制度により漁業研修を受け、この10月より独立した由良総括支所所属吉田慎也さんにインタビューした様子を掲載いたします。なお、吉田さんは2pで紹介した補助金を活用し中古漁船を取得しました。



現在36歳、物腰が柔らかく、笑顔がとてもさわやかな吉田さん。現在彼女募集中です!

Q1.漁業を始めようと思ったきっかけを教えてください。

吉田さん)東京でコンピューター関係の仕事をしていましたが、人に使われるのではなく、自分ひとりで仕事をしてみたい、という思いが強くなりました。以前から興味があった漁業についていろいろ調べ、その中で新規就業者への支援が一番手厚いと感じ

た山形県で漁業に挑戦してみようと思いました。

Q2.見習い期間の思い出や感想をお聞かせください。

吉田さん)まず初めに(有)仁三郎さんで漁業研修をさせていただきました。そこで漁業についての基礎的なことから、たくさんのことを教わりました。その後、五十嵐健生さんのもとで独立に向け、見習いをさせていただきました。仁三郎さんとは漁業種類が全く違うこともあり、慣れない

ことが多く、戸惑いもありましたが、五十嵐さんが丁寧に教えてくださったおかげで、最低限ではあるかもしれませんが、独立できるくらいの知識や経験を積むことができたのではないかと手ごたえを感じています。

Q3.実際に独立してみてどうですか。

吉田さん)現在は主にはえ縄漁でサワラを水揚げしています。漁模様については今のところ可もなく不可もなくというところですが、とにかく漁にできることが楽しい日々です。また、わからないことは五十嵐さんをはじめ石塚博明さんなど、先輩方がいろいろ教えてくれるので本当にありがたいです。

Q4.今後チャレンジしたいことを教えてください。

吉田さん)今思うことは、一日も早く一人前になるということですが、まずは怪我無く、病気もせず健康で漁業を続けていきたいです。また、今後はマグロ漁にも挑戦出来たらと思っています。

Q5.休日の過ごし方や趣味など教えてください。

吉田さん)今は休みの日も漁に使う道具作りで休みはない感じです。

Q6.最後に漁業を始めたいと考えている方へメッセージをお願いします。

吉田さん)新しく漁業を始めたいと思っている方は、随時漁業体験が出来るのでぜひ挑戦してみてください。

「水産改革と海面利用」セミナーの開催

講演

水産政策の改革と今後の海面利用について
～洋上風力発電の動向が気になっている～

講師

一般財団法人東京水産振興会
理事 長谷 成人 氏 (元水産庁長官)



県では、令和3年11月16日(火)、酒田市総合文化センターにおいて、漁業者（山形県漁協所属組合員・准組合員と内水面漁業関係者・サケ孵化事業者）を対象とするセミナーを開催しました。このセミナーでは、一般財団法人東京水産振興会理事で元水産庁長官の長谷成人氏を講師に迎え、「水産政策の改革と今後の海面利用について～洋上風力発電の動向が気になっている～」をテーマに御講演をいただいたところです。

今回のセミナーは、遊佐町沖が洋上風力発電事業の「有望な区域」に選定され、今後、事業化に向けて議論が本格化していく中、また、酒田市沖の検討を進めて行く中で、洋上風力発電に対する関係漁業者の理解を一層深めていただく趣旨で開催いたしました。

講演では、漁業・水産業が既に地球温暖化や海水温上昇の影響を受けていること、漁業の観点からも、温室効果ガスの排出抑制、脱炭素社会の構築は急務となっていること、急激な人口減少により、国や地域の在り方、周辺海域の状況が大きく変わる中で、漁業法の改正などの水産政策の改革が行われたこと、その中で海面利用制度の見直し部分は洋上風力発電と深い関係にあり、水産業と洋上風力発電は水産改革と絡め協調して取り組むことが必要であるといった御講話でした。

また、再エネ海域利用法では、漁業が行われている海に、一方的に風車が建つことはなく、漁業に支障があれば事業は進めないことが明示されており、埋め立てのように、洋上風力発電で海が失われてしまうわけではないので、漁業権は放棄せず、洋上風力発電が地域にもたらすメリットを引き出し、持続可能な地域にしていくことが必要、風力で発電した電気を養殖施設で活用する、特産物の生産に生かすなど、漁業振興につながる方策について知恵を出し合っ、内水面漁業も含め漁業振興・地域振興を考えてほしい、と述べられ、漁業の現場に寄り添った熱いメッセージをいただいたものと思います。

県としましても、漁業・水産業の発展にも資するよう、再生可能エネルギーの導入に係る取組みを推進していきたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。

山形県環境エネルギー部エネルギー政策推進課 エネルギー政策推進専門員 笹原 和人



【講師プロフィール】

一般財団法人 東京水産振興会
理事 長谷 成人 氏

- ・1957年9月生まれ、東京都調布市出身
- ・1981年3月 北海道大学水産学部水産増殖学科を卒業後、1981年4月水産庁^(※)入庁
- ・^(※)水産庁では資源管理推進室長、漁業保険管理官、沿岸沖合課長、漁業調整課長、漁場資源課長、資源管理部審議官、増殖推進部長、次長、長官を歴任
- ・2019年7月 退官後、2019年11月から現職

おめでとうございます!!

山形県水産業賞 受賞!



令和3年度山形県水産業賞は、飛鳥支所所属の池田幸一郎氏と鼠ヶ関地域協議会「蓬莱塾」が受賞されました。

この賞は、長年にわたり本県水産業の発展に顕著な功績のあった個人や団体に贈られるものです。昭和54年度以降、令和2年度まで45個人8団体に授与されており、今年度の授賞式は去る11月24日に山形市のホテルメトロポリタン山形にて開催されました。

池田氏は、本県におけるマグロはえ縄漁法の開発を行ってきた第一人者であり、飛鳥地区におけるマグロ資源管理の調整役のほか、県外まき網船団との漁業協定の締結に尽力するなど、当漁協理事を退任後も島のリーダーとしてご活躍されております。

また、鼠ヶ関地域協議会「蓬莱塾」は、地元漁業者と連携して地魚を活用したイベント事業など地域と密着して積極的に地域の活性化に取り組まれております。

今後も益々のご活躍、ご発展をご祈念申し上げます。

詳しい内容は8・9ページをご覧ください。



JF JF共済

考えてみよう
自分のこと。
家族のこと。



2021年10月から
新登場!

漁協の 介護共済
一時払介護共済
あしすこ

三大疾病保障特約付介護共済
あしすこ

安定した地物出荷を目指して

蓄養モデル実証事業 追加募集のお知らせ

県では栽培漁業センターで蓄養に取り組む漁業者を募集し、蓄養モデル実証事業を実施しています。今年度は、定置網漁業者2組が5～7月に漁獲したヒラメを蓄養し、7～8月に出荷しました。混獲されたマアジを餌として与えたところ、現場関係者から「収容時よりも“えんがわ”は肥えており、蓄養したことで身質が向上している」との感想があり、提携先の業者からも高評価でした。



蓄養を行った漁業者からは、「規模を拡大するための課題はあるが、“夏場における安定的な地物出荷”などの優位性を持った、新たなビジネスモデルになりうる」とのコメントをいただきました。

秋以降は、定置網漁業者2組がアオリイカを、はえ縄漁業者5組がマダイ・アカムツ・トラフグ・マフグを蓄養予定です（漁獲状況により変更の可能性があります）。

県では蓄養に取り組みたい方を追加で募集します。興味がある方は庄内水産振興課までお気軽にご連絡をお願いいたします。

【募集についての注意事項】

- ・今年度の蓄養事業の期間は令和4年3月21日までです。
- ・応募条件は、山形県漁業協同組合の組合員で、栽培漁業センターの水槽で蓄養魚を適切に管理するなど、自ら蓄養を実践できる体制が整っていることです。
- ・蓄養魚を蓄養水槽に池入れするまでに要する経費や出荷（搬出・販売など）に要する経費については、自己負担となります。
- ・その他詳細・応募方法については、庄内総合支庁水産振興課までお気軽にお問合せください。

県庁水産振興課 技師 太田 稔章

おいしい魚加工支援ラボの 公式Instagramを開設しました！

おいしい魚加工支援ラボの設備や、水産加工に関する情報を発信していきます。

アプリで画像のQRコードを読み取るかyamagata_oishisakana_labで検索して投稿を覗いてみてください。たくさんのフォローお待ちしております！ 水産研究所 資源利用部 五十嵐 悠



事業者の方へ



消費税の
インボイス
制度

登録申請受付中！

令和5年10月1日からインボイス制度が始まります。

インボイスを交付する事業者となるには事前に登録申請が必要です。



登録申請手続は、e-Taxをご利用ください!!

- ✓ 「e-Taxソフト(WEB版)」、「e-Taxソフト(SP版)」をご利用いただくと質問に回答していくことで申請が可能です。
- ✓ e-Taxで申請した場合、電子データで登録通知の受領が可能です。



個人事業者の方はスマートフォンからでもe-Taxで申請できます。
e-Taxのご利用には事前にマイナンバーカードの取得が必要です。

全国どこからでも誰でも参加可能な オンライン説明会を開催

インボイス制度の基本的な事項や留意すべき点などを解説します。また、チャット機能を利用した質疑応答も行っております。

説明会サイトへ▶



- インボイス制度に関する一般的なご相談は、軽減・インボイスコールセンターで受け付けております。
【専用ダイヤル】0120-205-553 (無料)
【受付時間】9:00～17:00 (土日祝除く)

インボイス制度について詳しくお知りになりたい方は、国税庁ホームページ(<https://www.nta.go.jp>)の「インボイス制度特設サイト」をご覧ください。

特設サイトへ▶



WEB開催!! 第27回全国女性漁業者グループリーダー研修会 第22回全国女性連フレッシュ・ミズ・プログラム



10月22日(金)、第27回全国女性漁業者グループリーダー研修会がWEB開催され、当漁協女性部からは、女性部副部長の佐藤初子さんと由良支部の大場千里さんが参加しました。

女性部において理想的なリーダーシップとは何かを題材に、(一社)日本協同組合連携機構基礎研究部の小川理恵主席研究員が講演し、その後はJF山口・長門女性部仙崎支部の谷村康子氏の事例発表や台所研究科の中村優氏による記念講演が行われました。参加した佐藤初子副部長からは、「いろいろな話を聞け、いい経験ができた。またぜひ参加したい。」という感想が聞かれました。

11月5日(金)には、第22回全国女性連フレッシュ・ミズ・プログラムがWEB開催され、当女性部からは昨年同様大場千里さんが参加しました。

この、フレッシュ・ミズ・プログラムは50歳以下の若手漁協女性部員が女性部活動を担うべき人材となるための一助として、実施されています。今回は、「スタディfish～地域の食を守るのは私たち～」を研修テーマに、事例発表や講演が行われました。

参加した大場さんからは「今回は、比較的少人数だったこともあり、意見が活発に飛び交い、他県のいろいろな話を聞くことができた。WEB開催は一堂に会する場合とはまた違う、WEBならではの面白さがあると感じた。」という感想が聞かれました。

WEBでの研修会等はどこにいても気軽に参加できる利便さがあります。各総括支所や本所にはWEB会議のための設備も整っていますので機会があれば是非、こういった研修会等に参加してみたいはいかがでしょうか



伝えます! 庄内浜の味と技 **放送中!** ～庄内浜文化伝道師ラジオ～

庄内で獲れる地魚の美味しさと、料理方法・食文化などを伝える活動をしている、「庄内浜文化伝道師」。毎週火曜と土曜に、酒田FMハーバーラジオで、「伝えます! 庄内浜の味と技」という番組を担当。毎月、旬のお魚トークをしています。

11月の放送では、ゲストに、道の駅鳥海ふらっと「元気な浜店」店長・山形県漁協女性吹浦支部長の本多寿賀子さんを迎え、元気な浜店の人気メニュー「銀ガレイ」や、「庄内浜の魚を使ったおそうざい」の話、1月の各週日曜限定で提供する、ゆで大根入り「寒鰯汁」の話など、にぎやかに行いました。

今後も、いろんなゲストスピーカーを交えながら放送していく予定です。ぜひ、聞いてみてくださいね! 庄内総合支庁 水産振興課 水産振興主査 足田 志乃



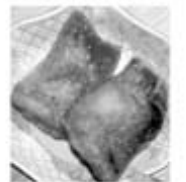
◆11月は、庄内浜文化伝道師の相田満春さん(左端)、ゲストの本多寿賀子さん(中央)と収録を行いました。



◆道の駅鳥海ふらっと「元気な浜店」の様子。有名な「銀ガレイの焼魚」は、「一年中売れる主力商品」として、お店を立ちあげた先輩たちが開発したそう。夏の最盛期で1日4～500枚、出ることもあるそうです!



◆元気な浜店特製の、「庄内浜産魚のお惣菜」の数々。人気の「イカ天」地物カレイやエビ、ハタハタの唐揚げなども。庄内浜産の材料は冷凍や塩蔵して冬でもお惣菜を切らさないようにしているそう。



◆秘伝のタレでつくる「甘辛」。後を引くおいしさです!(写真は「カスベ」の甘辛)



◆酒田FMハーバーラジオ「伝えます! 庄内浜の味と技」
◇76.1MHz 毎週火曜日 午前11時～11時30分
(再放送)毎週土曜日 午後1時30分～2時
◇酒田FMのHPから、ポッドキャスト配信で過去放送分も聞けますよ!

◆Podcast配信はこちらから
(酒田FMのページ)⇒
◇本多さんの出演回は、
11月2日放送分&
11月16日放送分!



◆伝道師 公式facebook
公式Instagramでも、
ラジオの様子など、
載せています。



◆庄内浜文化伝道師と作った
簡単!おいしいレシピ、
クックパッドで見れますよ!⇒
「やまがたさかなビキッテン」



漁協の介護共済

新制度

あしすと / あしすと ぷらす

リリースいたします!!



日頃より、漁協の共済事業をご利用いただき誠にありがとうございます。

さて、JF共済では皆様からの介護保障や三大疾病保障ニーズにお応えして令和3年10月1日に生命共済「チョコ」の新制度として一時払介護共済「あしすと」と三大疾病保障特約付介護共済「あしすとぷらす」の2つをリリースしました。介護共済の登場により、漁協の共済はさらに幅広くより安心いただける保障を提供できるようになりましたので、是非、皆さまの生涯設計にお役立ていただければと思います。

今回は三大疾病保障特約付介護共済「あしすとぷらす」についてご紹介します。

詳細につきましては、県漁協各支所または、本所 信用共済課までお気軽にお声がけください。

信用共済課長 大淵 敬三



普通厚生共済
チョコ

三大疾病保障特約付介護共済

2021年10月
介護共済
新登場!

あしすと ぷらす

ご加入年齢：20歳から75歳



三大疾病や介護時の 経済的負担に備える

三大疾病保障特約付介護共済 あしすこ ぷらす

100万円
 加入年齢 20歳～75歳
 60・65・70・80歳払込終了
 介護共済 100万円
 三大疾病保障特約 100万円

主な保障			
三大疾病のとき	要介護のとき	高度障害のとき	万一のとき
100万円	100万円	100万円	20万円



ご加入例 60・80歳払込終了(月払/年払)

加入年齢	男性 (単位:円)				女性 (単位:円)			
	60歳払込終了		80歳払込終了		60歳払込終了		80歳払込終了	
	月払	年払	月払	年払	月払	年払	月払	年払
20	2,060	23,450	2,770	31,500	2,380	26,980	2,490	28,240
25	2,320	26,350	3,090	35,190	2,690	30,540	2,750	31,210
30	2,660	30,210	3,500	39,700	3,080	34,990	3,050	34,620
35	3,130	35,540	3,980	45,330	3,590	40,800	3,390	38,550
40	3,800	43,230	4,600	52,360	4,310	49,000	3,800	43,200
45	4,850	55,150	5,370	61,180	5,420	61,680	4,280	48,740
50	6,740	76,650	6,350	72,290	7,500	85,320	4,880	55,520
55	11,700	133,290	7,580	86,270	13,420	152,790	5,640	64,260
60	-	-	9,150	104,170	-	-	6,710	76,310
65	-	-	11,220	127,870	-	-	8,280	94,310
70	-	-	14,290	162,880	-	-	11,060	125,910
75	-	-	20,810	237,200	-	-	18,270	208,170

※上記は共済掛金の概要です。詳細については、お近くの組合にご確認ください。



何でも魚ツチング



新最上丸の調査機器の紹介 第3回 水中カメラの巻



図1



図2

新最上丸の機能を紹介するシリーズ、今回は水中カメラについてご紹介します。新最上丸には、水深150mまで撮影可能な自走式水中テレビ(LBV150-4)を搭載しました(図1)。ゲーム機に付いているようなジョイスティック付コントローラーを用い、撮影している映像を液晶モニターで確認しながら操作することで、的確に水中探索をすることができます。

図2は明石礁を撮影した際の映像です。このように海藻や魚を鮮明に撮影することができ、視覚的に把握できるほか、人工魚礁や漁業障害物の確認、底質等の操業に関わる情報の収集まで、幅広く活用することができます。

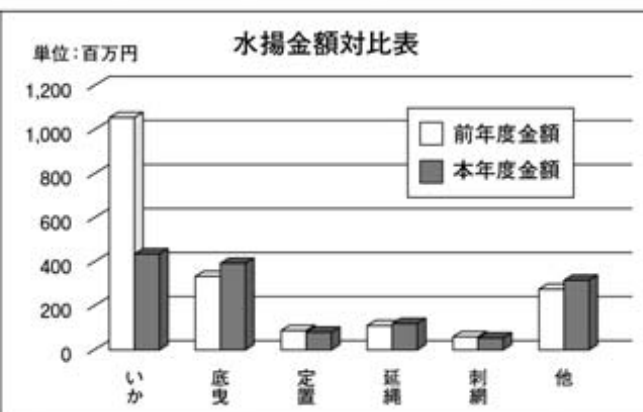
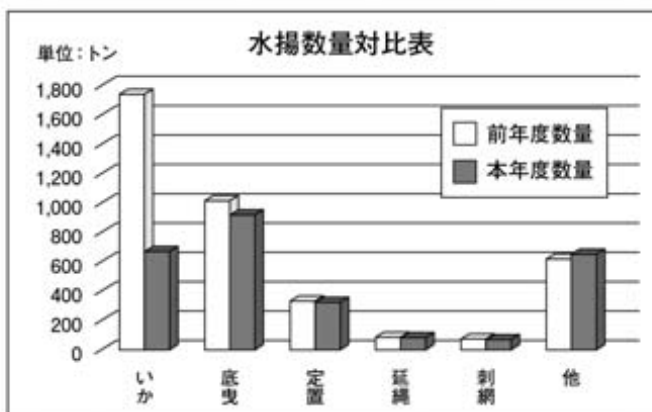
とはいえ実際に操作してみると、潮の流れがある海中での操縦は意外と難しく、真っすぐ走らせるだけでも何度も練習しました。調査の要望にお応えできるよう、今後も修練を積んでまいります。水産研究所海洋資源調査部 研究員 鈴木 拓海

漁業種類別前年度水揚対比表

令和3年10月31日現在

(単位: kg, 千円)

	10月数量	本年度数量	前年度数量	数量増減	10月金額	本年度金額	前年度金額	金額増減
1 底曳網漁業	96,499	918,161	1,011,984	▲93,823	105,769	395,196	334,849	60,347
2 刺網漁業	6,813	76,153	79,799	▲3,646	9,256	53,453	60,077	▲6,624
3 いか一本釣漁業	8,435	95,747	821,305	▲725,558	6,440	65,152	430,508	▲365,356
4 船凍いか釣漁業	33,288	579,216	908,960	▲329,744	19,925	372,128	627,045	▲254,917
5 はえなわ漁業	25,809	87,118	91,380	▲4,262	32,141	119,059	111,916	7,143
6 ごち網漁業	9,816	83,355	88,250	▲4,895	6,462	43,679	48,784	▲5,105
7 定置網漁業	41,411	323,090	331,209	▲8,119	26,979	85,497	93,339	▲7,842
8 採貝藻漁業	6,060	93,926	101,046	▲7,120	2,809	71,135	65,021	6,114
9 その他の漁業	41,441	474,080	418,622	55,458	8,215	144,634	134,282	10,352
10 張網漁業	0	3,123	6,778	▲3,655	0	1,317	2,750	▲1,433
11 遊漁、直売、県外	0	0	0	0	6,725	57,016	28,141	28,875
合計	269,572	2,733,969	3,859,333	▲1,125,364	224,721	1,408,266	1,936,712	▲528,446



水揚情報

令和3年10月31日現在

(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
9月末迄水揚累計		1,133,250	40,870	33,286	539,849	75,608	114,989	67,154	20,658	240,836
月間水揚	県内船水揚	193,913	8,151	1,804	39,241	10,625	37,537	24,491	5,773	66,291
	県外船水揚	24,080	0	0	24,080	0	0	0	0	0
	合計	217,993	8,151	1,804	63,321	10,625	37,537	24,491	5,773	66,291
前年同月水揚		565,021	9,804	3,797	386,458	19,408	45,531	25,050	7,432	67,541
本年度水揚	県内船水揚	1,015,774	49,021	35,090	285,451	86,233	151,131	91,645	26,431	290,772
	県外船水揚	335,469	0	0	317,719	0	1,395	0	0	16,355
	合計	1,351,243	49,021	35,090	603,170	86,233	152,526	91,645	26,431	307,127
前年度水揚累計		1,908,564	45,994	48,135	1,158,794	82,603	151,238	81,771	23,835	316,194
増減		-557,321	3,027	-13,045	-555,624	3,630	1,288	9,874	2,596	-9,067
本年度水揚計画		2,620,000	85,000	67,000	1,357,000	125,000	280,000	168,000	34,000	504,000
達成率		51.5%	57.6%	52.3%	44.4%	68.9%	54.4%	54.5%	77.7%	60.9%

今あがっている魚 - 10月のベストテン - 前年対比 増ノ減ノ変らずノ

水揚金額(千円)				漁獲量(kg)					
1	するめいか	28,839		ノ	1	するめいか		45,318	ノ
2	女かに	27,569		ノ	2	べにずわい		36,900	ノ
3	ずわいがに	26,162		ノ	3	さけ		23,950	ノ
4	さけ	21,329		ノ	4	たい		22,946	ノ
5	さわら	21,205		ノ	5	さわら		18,983	ノ
6	たい	14,186		ノ	6	女かに		13,199	ノ
7	ほっこくあかえび	13,913		ノ	7	ほっこくあかえび		10,912	ノ
8	はたはた	12,455		ノ	8	ほっけ		9,264	ノ
9	まぐろ類	8,786		ノ	9	たら		9,256	ノ
10	べにずわい	5,166		ノ	10	はたはた		9,087	ノ

月間MVP

月間MVP



● 早いもので今年も残り1ヶ月余りとなりました。10月からは、ズワイガニ漁が解禁となり定置網にも鮭が入ってきました。また、冬いか漁に向け、県外からもいか釣り船が続々と入港しつつあり、日々季節の移ろいを感じています。漁業を営むすべての皆様方の今後の大漁を期待します。

● 庄内空港の開港30周年の記念に併せ、日々新型コロナウイルス感染症の対応にあたる医療従事者に向け、敬意と感謝を示そうと「ブルーインパルス」が庄内上空を華麗に飛行しました。この、「ブルーインパルス」が所属する航空自衛隊第4航空団第11飛行隊の遠渡隊長は地元三川町の出身で、まさに故郷に錦を飾る凱旋飛行となりました。爆音を大空へ轟かせ、V字の編成を崩すことなく美しく上空を縦断していく様子には大変感慨深いものがありました。

● 毎日のように感染拡大が報じられていた新型コロナウイルス感染症ですが、徐々に落ち着きを見せ始めてきました。ワクチン接種完了者も全国で70%を超えました。まだまだ油断できない状況です。手洗いうがい、マスク着用など予防を徹底して、体調管理には十分留意したいものです。

● 「すいさん山形」は、組合員の皆様方のお役に立てる様々な情報や話題を共有し、愛される広報誌作りを心掛けております。今後ともご意見・情報等ご提供くださいますようお願いいたします。

山形県漁業協同組合 由良総括支所

佐藤 和行

10月10日「ととの日」に
由良が大賑わい!

魚と魚と食えす



10月10日(ととのひ)に、由良コミセン近くのふれあい広場で、県漁協、加茂水産高校、由良自治会活性化委員会、ゆらまちっく戦略会議、海と食の地域モデルin庄内浜実行委員会、鶴岡市が連携して、地魚加工品の販売等のイベントを開催しました。

この催しは、コロナ禍で「つるおか大産業まつり」が鶴岡市内の産直施設等を巡るスタンプラリーに代わることが決まった際、同まつりの監事である県漁協の本間組合長が市に「加工場がある由良に人を呼んで賑わいをつくりたい」と相談されたことを受け、本間工場長をはじめ関係者の協力を得て企画を練り、実現したものです。当日は、開始20分前から水産高校の缶詰や県漁協のイカやエビ等の揚げ物を求めるお客様で長蛇の列となりました。缶詰は30分で完売し、揚げ物や由良特産の小鯛だし調味料の販売も大盛況でした。また、買い物客の他、海洋釣り堀での釣りや海テラス由良での鯛丼等の食事を楽しむ家族連れや観光客も多く、会場周辺は終日賑わいました。

鶴岡市農林水産部農山漁村振興課 農山漁村振興専門員 五十嵐 崇



天然印 庄内浜テロワール 主催イベント目白押し!



次世代クロストーク

海の守り手たち



11月9日、次世代において様々な立場で海の担い手となる、鶴岡食のアンバサダーの料理人3名と県漁協の職員、若手漁師、加茂水産高校の3年生が、現在の海洋環境の変化や庄内浜の課題と魅力を共有し、今後どのように浜の魅力を受け継ぎ、発信していけるかなどのアイデアを出し合うトークイベントを開催しました。

高校生らにはトークイベントに先立ち、アンバサダーの3名が庄内浜の旬魚をふんだんに使用した特製弁当を振舞い、天然漁場庄内浜の水産物の多様性と豊かさを体感していただきました。高校生たちからは「周囲の人に庄内

浜は綺麗、地魚が美味しいと伝え、水産に興味を持ってもらえるように働きかけたい」「地元の魚を使った料理で消費者の人に発信する仕事がしたい」という宣言もあり、未来に向けてそれぞれが連携し合いながら、一体となって庄内浜の豊かさを守り、魅力の発信に努めるための第1歩となりました。

鶴岡食文化創造都市推進協議会 小野 愛美

トークイベントは
YouTubeでご視聴
いただけます。



海のマルシェ in 酒田

★ 去る、10月16日(土)酒田海鮮市場周辺にて天然印庄内浜テロワール主催の「海のマルシェin酒田」が開催されました。

前日の予報通り、イベント当日は朝からしとしと降りの雨模様で肌寒さを感じる一日となってしまいましたが、合羽姿の親子連れや色とりどりの傘を差したお客様が大勢お見えになり、あいにくの空ながらも盛況なイベントとなりました。

今回はコロナ対策のためテイクアウト商品のみの販売でしたが、庄内浜テロワールアンバサダーを務める、タレントの三浦友加さんがステージを盛り上げる中、えびの焼きそばやスープ、ハンバーガーやお好み焼きなどおいしい食べ物をはじめ、ワークショップなど様々な出店があり、大盛況となりました。また、県の漁業試験調査船「最上丸」や、漁業調査監視船「月峯」の乗船体験にも長蛇の列でした。

酒田市と県漁協がタイアップしたブースでは、(有)仁三郎さんのご協力を得て活アオリイカの水槽展示を行いました。滅多に間近で見られないイカにたくさんの子どもたちが集まり「うわー、おっかいイカだあ〜!!」と興味深げに立ち寄る様子がみられ、「おいしそう!」というリアルな声も聞こえてきました。

悪天候の中お立ち寄りいただいた皆様、本当にありがとうございました。

酒田市農林水産課 長谷川 正彦

